

第330回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成28年7月25日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	春日 貴光	委員
原田 健一	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員		

会社側出席者

代表取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	須佐 博樹
取締役報道制作局長	平野 真一
執行役員編成局長兼番組審議会事務局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	吉野 龍太
事務局	山崎 学 水野 明子

4 議 題

1) 番組合評

「イチオシ！2泊3日の旅 in 佐渡」

[放送：平成28年6月18日（土）10:30-11:25]

(説明：番組プロデューサー 吉野 龍太)

2) 会社報告

①6月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、2013年よりBS日テレで放送している「イチオシ！2泊3日の旅」を当社と共同制作という形式で地上波でも放送した。番組構成的に慌ただしい行程ではなく、1泊では味わえない贅沢を感じる旅をコンセプトとしているので、番組制作も順撮りというスタイルで制作した。キャスティングも一般の視聴者が共感共有できる姉妹・親子を選んでいる、という説明があった。

(委員の意見)

- 全体として良質、贅沢の旅が表現できていた。キャスティングも気取らない女性同士で親しみがわき、旅行程もモデルコース的で佐渡初心者には安心して見られる旅番組であった。但し、佐渡島民・新潟県民の立場からみると定番の感じがイン

パクトを薄めていると感じざるを得なかった。旅行に行きたくなるきっかけとなる「驚き」「新発見」が描き切れていなかった。

- 新潟県内での放送としては新しい発見がなく、みんなが知っていることをなぞっていて物足りない感じがあったが、BS日テレでも放送しているとのことで、その理由が分かった。
- 萩尾みどり姉妹のキャスティングはお高く留まらず、姉妹でぎっくばらんに旅を楽しんでいることで、明るく引っ張られて、一緒に旅を楽しんだという感じで爽やかでいい番組であった。
- 宿料金は高いが、行程のコースは庶民的な内容だったので不思議な感じがした。大人の女性が落ち着いて見て回るというトーンに抑えられているゆったり感が同年代女性にはよかったと思う。但し、2日目は佐渡自然が最近見直されてきていることもあるので、自然の中に入るコースを選び方もあったのではないか、姉の紅子さんがパステル画家であるので、佐渡の夕陽を描いてみてもらう演出は出来なかったのか、と感じた。
- すごく嫌な部分もなければすごくいいという部分もなかったみたいな、番組全体としての印象だが、萩尾さんのキャラクターと姉妹の仲の良さに引っ張られて落ち着いてみる事が出来た。
- 内容的には分かり易く、よくできていると思うが、頂けない番組であった。BS日テレとの共同制作ということで、イメージとしては既に陳腐化している佐渡のイメージをパターン通りに、BS日テレの言うなりに番組制作しては地方局

として、単なる下請けに甘んじているようで不満である。もっと闘争心を燃やして欲しい。

- 右肩上がりの昔のテレビ局であればこの作りはあるかもしれないが、現在においてもチャレンジ精神のみえない作りではいけないと思う。共同制作するのであれば、花の舞台、T e N Yの本領を示すつもりで工夫した番組を作ってほしい。
- 2泊3日で見回れる旅としては必要な要素は入っているが、番組制作の念頭にあるのは首都圏の人たち向け、新潟県民にとっては有名な所ばかりで、お得な情報も少なく物足りなかった。
- 行程の中で、直江津から「あかね」で佐渡に向かうことは初めて知ったのでよかったが、バスで島内を回ることは一度経験がある人には厳しいことは分かることなので、そのような情報も入れた方がよかった。
- 新潟に来て間もないので新鮮に見ることができた。但し、同週に他局でも佐渡の観光番組を放送していたが、ほとんど同じ内容、行程で佐渡の定番なのだと感じた。その定番さが佐渡に観光客を誘客する場合にリピーターを呼び込む要素が少なく、物足りなく感じた。佐渡というコンテンツを大きくするには定番では物足りないと思う。
- 佐渡への行程も直江津からの「あかね」のみの情報で、他の経路の紹介や、宿の料理だけの紹介でその他のグルメ的要素もなく情報が少ない印象を受けた。
- 真面目な内容で、特に画像が美しかった。海や佐渡の景色はきれいだった。
- 番組内容的には新鮮味が少なく、歴史的要素の場所なども取

り上げたり、佐渡への航路も直江津から以外の航路も紹介したりすべきである。観光番組として軸となるものが必要であったと思う。佐渡の魅力が宝の持ち腐れの感がする番組であった。

- カメラアングルがきれいであったこと、建築物の特長を説明していたことは良かった。ゆったりと楽しんで見ることが出来た。
- 佐渡を取り上げた番組を見るにつけ、観光客が 100 万を割っていて、リピーターが少ないのは過去の観光資源にしがみつきチャレンジ精神に欠けていると思うが、それが番組にも表れているのだろうか。T e N Yとして佐渡観光の「次のテーマ」を盛り込んで、県民に向けた番組を作ってもらいたい。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月 …… 95件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成28年6月27日)から昨日(平成28年7月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回、第329回審議会では、「RICE WARS II 一日米“コメ開戦”前夜一」を審議いただきました。委員の

意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第 330 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 民間放送新聞（7/3、13号）
- ・ BPO報告 NO.164

以上